

The 8th Annual Meeting of the Japan Society for Pediatric ORL



# 第8回日本小児耳鼻咽喉科学会 総会・学術講演会

## プログラム

会期：2013年6月20日(木)・21日(金)

会場：前橋テルサ 〒371-0022 群馬県前橋市千代田町2丁目5-1  
TEL：027-231-3211

会長：荒川 浩一 (群馬大学大学院医学系研究科小児科学分野)

日本小児耳鼻咽喉科 第34巻 第2号  
Pediatric Otorhinolaryngology Japan Vol. 34, No. 2

第8回 日本小児耳鼻咽喉科学会総会号  
学術講演会 プログラム・抄録集

会 期：2013年6月20日(木)・21日(金)  
会 場：前橋テルサ  
〒371-0022 前橋市千代田町2丁目5番1号  
TEL: 027-231-3211  
ホームページ：http://maebashi-ppc.or.jp/terra/  
会 長：荒 川 浩 一  
群馬大学大学院医学系小児科学分野  
事務局：〒371-8511 前橋市昭和町3-39-22  
群馬大学大学院医学系研究科小児科学分野内  
TEL: 027-220-8200 FAX: 027-220-8216  
E-mail: ped8th@kyodo-cs.com  
ホームページ：http://www.ped-orkl.umin.jp/8th/  
事務局長：滝 沢 琢 己

日本小児耳鼻咽喉科  
Japan Society for Pediatric ORL

## 会長挨拶

---

この度は、群馬県で第8回日本小児耳鼻咽喉科学会を開催させていただくこと大変光栄に存じます。群馬大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科学教室と連携して少しでも魅力のある学会にして行きたいと願っております。

本学会の前身である「日本小児耳鼻咽喉科学研究会」は昭和54年に設立され、30年以上の歴史ある学術団体です。研究会の時代には小児科医が会長をされたこともあり、平成14年の第47回研究会では、本学小児科の森川昭廣前教授が会長をお務めになりました。その後、平成18年に研究会より学会組織に改組され、第7回までは耳鼻咽喉科が続けて会長をなされましたが、今回、学会として初めて小児科から会長となりました。何卒、よろしく願い申し上げます。

さて、耳鼻咽喉科疾患に罹患した小児のトータルケアを実現するためには、比較的専門性の高い耳鼻咽喉科学だけでなく、包括して医療分野を担う医師やコメディカルなどの複数の視点で捉える必要があります。その理念を益々発展させ、子どものために、学会のみならず日常診療でも耳鼻咽喉科と小児科が協力して医療を進めて行こうという思いを込めて、本学会のテーマを「協働：子どものすこやかな発育のために」といたしました。

本学会は、耳鼻咽喉科と小児科が同じテーマで学び合えるのが特徴です。そのため、特別演題には双方の医師に座長と演者になってもらい、異なる視点から講演を盛り上げていただきたいと企画いたしました。

プログラムの内容については、特別講演1として児童精神科医師として非常にご高名なベック研究所主宰の吉田友子先生に「耳鼻咽喉科臨床と自閉症スペクトラム障害」を、特別講演2として子どもの発達支援を考えるSTの会理事長である中川信子先生に「子どものこころとことばの育ち—親子を共に支援するために—」と題してご講演をお願いしています。また、シンポジウムとして、プライマリー医が悩む小児気道症状、難治小児疾患へのチャレンジ、中耳炎、重症感染症の予防を取り上げ、耳鼻科医と小児科医がそれぞれの立場からご講演いただき共通認識を得るような企画にいたしました。また、ミートザエキスパートとして4名の先生から、それぞれの専門領域の話題について教育的な内容でお話いただけたと思います。その他、ランチョンセミナー4題、モーニングセミナー1題を予定しています。一般演題には117演題応募がありました。学術集会の原点である一般演題とディスカッションを重視し、演者と参加者が徹底的に議論できるように、特別企画とは時間的に重ならないようなプログラムに配置いたしました。ぜひ、活発なご討論を期待しております。

本学会の慣例に従い、木、金曜日の開催ですが、ぜひ多くの方々にご参加いただき、本学会が益々発展していくことを願っております。なお、学会終了後の土、日曜日を利用して、伊香保温泉や榛名山、赤城山を周遊されるのはいかがでしょうか。

最後になりますが、本学会の開催に当たり理事長はじめ、理事、評議員、役員、会員の皆様、そしてご協力いただいた企業各社および関係諸氏に厚く御礼申し上げます。

平成25年6月吉日

第8回日本小児耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会

会 長 荒 川 浩 一

群馬大学大学院医学系研究科小児科学

事務局長 滝 沢 琢 己

# 交通のご案内

## 会場周辺図



## 会場アクセス

### 主要駅から 新幹線のご案内

東京	上越新幹線とき・長野新幹線あさま (50分)	高崎		
新大阪	東海道・山陽新幹線のぞみ (2時間30分)	東京	上越新幹線・長野新幹線 (50分)	高崎
仙台	東北新幹線はやて (1時間20分)	大宮	上越新幹線・長野新幹線 (30分)	高崎
新潟	上越新幹線とき (1時間20分)	高崎		
長野	長野新幹線あさま (55分)	高崎		

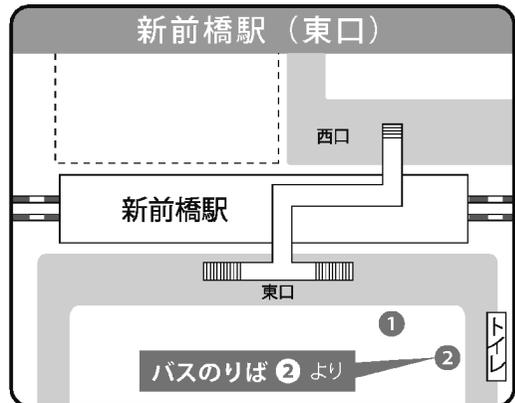
## 高崎駅から JR在来線のご案内



- 両毛線「高崎駅」発→「前橋駅」下車、「前橋駅」から、タクシーまたはバス/約5分もしくは 徒歩/約15分
- 上越線・吾妻線乗車時は、「高崎駅」→「新前橋駅」下車、「新前橋駅」から、タクシーまたはバス/約10分

## 新前橋駅から バスのご案内

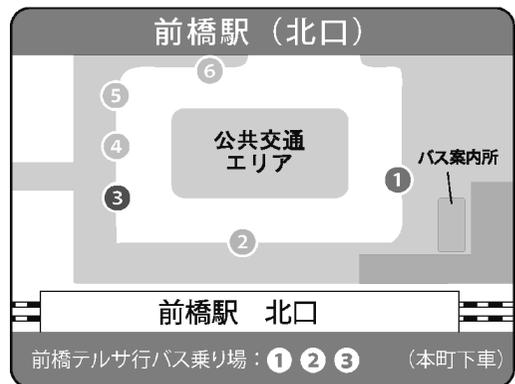
行き先		平日	土日祝
○群馬大学荒牧	7	30	30
	8	00 25 57	00 57
○総合スポーツセンター	9	30 55	30
	10	35	20
降り場	11	40	10
	12	20	10
日銀前 ※会場まで 徒歩3分	13	00 25	20
	14	00 35	15
	15	05 40	10
※乗車時間約10分 (片道190円)	16	10	00
	17	02 45	00



※お帰りの際は前橋テルサ前の「千代田町二丁目」バス停をご利用ください。

## 前橋駅から バスのご案内

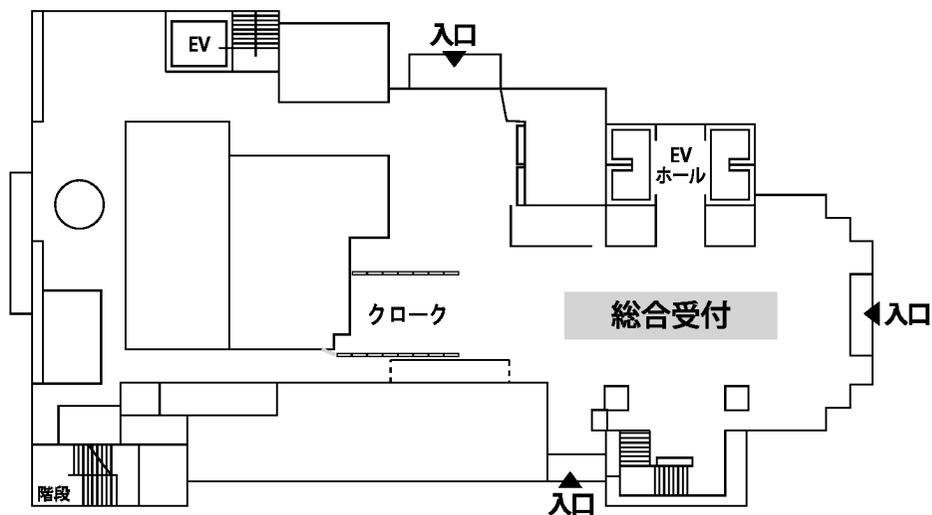
乗り場	行き先	降り場
北口バス 乗り場①	○前橋公園 ○県庁前	本町 ※会場まで 徒歩3分
北口バス 乗り場②	○群大病院 ○南橋団地 ○小児医療センター ○渋川駅	
北口バス 乗り場③	○緑が丘街 ○渋川駅 ○総合スポーツセンター ○群馬総社駅 ○中央前橋駅 ○敷島公園BT	
※乗車時間約5分(片道100円)		



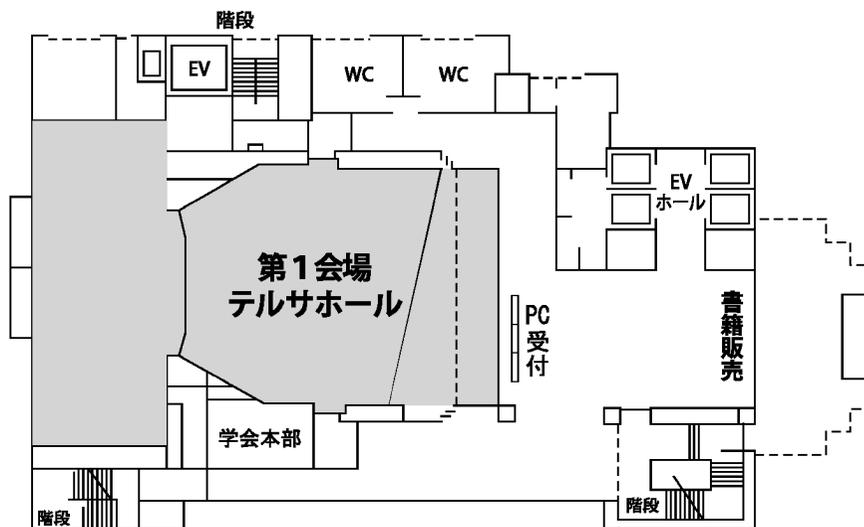
※お帰りの際は前橋テルサ前の「千代田町二丁目」バス停をご利用ください。

# 会場のご案内

1F



2F



8F



9F



# 日程表

第 1 日目 平成25年 6 月20日(木)

	2F	8F	9F
	第 1 会場 (テルサホール)	第 2 会場 (けやきの間)	第 3 会場 (つつじの間)
8:00	参加受付開始		7:30～ 8:20 理事会
9:00		8:30～ 9:20 評議員会	
10:00	閉会の辞 9:30～10:00 会長講演 司会：森川昭廣 演者：荒川浩一		
10:00	10:00～10:50 第 1 群 聴覚 1 演題番号：1～5 座長：西崎和則，大木康史	10:00～10:50 第 4 群 頸部 1 演題番号：16～20 座長：鈴鹿有子，高瀬真人	10:00～10:50 第 6 群 腫瘍・他 演題番号：26～30 座長：福永慶隆，横山純吉
11:00	10:50～11:40 第 2 群 聴覚 2 演題番号：6～10 座長：細井裕司，千田勝一	10:50～11:40 第 5 群 頸部 2・平衡 演題番号：21～25 座長：坂田英明，王 康雅	10:50～11:40 第 7 群 鼻副鼻腔 演題番号：31～35 座長：春名真一，川崎一輝
12:00	12:00～13:00 ランチョンセミナー 1 「小児急性中耳炎・副鼻腔炎診療ガイドライン～小児科と耳鼻咽喉科から～」 司会：高橋晴雄，高瀬真人 演者：尾内一信，工藤典代	12:00～13:00 ランチョンセミナー 2 「小児難聴，人工内耳」 司会：東野哲也 演者：加我君孝，竹澤公美子	
13:00	13:10～13:40 総会		
14:00	13:50～14:50 特別講演 1 耳鼻咽喉科臨床と自閉症スペクトラム障害 司会：荒川浩一 演者：吉田友子		
15:00	15:00～15:50 ミートザエキスパート 1 扁桃・アデノイドはなぜあるのか？ 鼻はなにをしているのか？～小児の 粘膜免疫・粘膜防御最前線～ 司会：市村恵一 演者：氷見徹夫	15:00～15:50 ミートザエキスパート 2 「診察」正常鼓膜と病的鼓膜の所見 を読む 司会：中川尚志 演者：上出洋介	
16:00	16:00～17:30 シンポジウム 1 「プライマリー医が悩む小児気道症状」 司会：川崎一輝，峯田周幸 演者：徳山研一，湯田厚司， 林 達哉，川崎一輝	16:00～17:40 シンポジウム 2 「難治小児疾患へのチャレンジ airway problem と嚥下障害」 司会：林 泰秀，安岡義人 演者：守本倫子，西 明， 渡辺美緒，森 正博， 梅崎俊郎 特別発言：棚橋汀路	
17:00			
18:00	17:40～18:30 第 3 群 遺伝子・他 演題番号：11～15 座長：宇佐美真一，長井今日子		17:40～18:40 第 8 群 音声言語・他 演題番号：36～41 座長：山嵜達也，田中美郷
19:00		懇親会	
20:00			

9F			
第4会場（妙義の間）	第5会場（榛名の間）	第6会場（浅間の間）	第7会場（赤城の間）
参加受付開始			
17:40～18:50 第9群 耳（ポスター） 演題番号：P1～P7 座長：大越俊夫，加藤政彦		17:40～18:50 第10群 口腔・鼻（ポスター） 演題番号：P8～P13, P30 座長：徳山研一，阪本浩一	

# 日程表

第 2 日目 平成25年 6 月21日(金)

	2F	8F	9F
	第 1 会場 (テルサホール)	第 2 会場 (けやきの間)	第 3 会場 (つつじの間)
	参加受付開始		
8:00		8:00～ 9:00 モーニングセミナー 「One airway One disease」 司会：黒野祐一 演者：藤澤隆夫, 藤枝重治	
9:00			
10:00	9:10～10:50 シンポジウム 3 「中耳炎に対する保存療法, 手術療法 の選択」 司会：河野陽一, 小林俊光 演者：飯野ゆき子, 伊藤真人, 鈴木賢二, 金兼弘和	9:10～10:50 シンポジウム 4 「予防接種のインパクト」 総合司会：森内裕幸 司会+演者：岡田賢司 演者：石和田稔彦, 齋藤昭彦	
11:00	11:00～11:50 特別講演 2 子どものころとことばの育ち ～親子を共に支援するために～ 司会：近松一朗 演者：中川信子	11:00～11:50 ミート ザ エキスパート 3 抗生剤の使い方 司会：望月博之 演者：池 康嘉	11:00～11:50 ミート ザ エキスパート 4 メダカから探る味覚系の基本原理 司会：滝沢琢己 演者：安岡顕人
12:00	12:00～13:00 ランチョンセミナー 3 「アレルギー性鼻炎」 司会：吉原重美, 岡本美孝 演者：勝沼俊雄, 増山敬祐	12:00～13:00 ランチョンセミナー 4 「耳鼻科領域における先天性代謝異常疾患」 司会：小川 郁 演者：奥山虎之, 守本倫子	
13:00	13:10～14:00 第11群 中耳 1 演題番号：42～46 座長：小林一女, 高橋克昌	13:10～14:00 第14群 喉頭気管 1 演題番号：57～61 座長：前田貢作, 小河原昇	13:10～14:00 第17群 口腔咽頭 1 演題番号：73～77 座長：内藤健晴, 今井丈英
14:00	14:00～14:50 第12群 中耳 2 演題番号：47～51 座長：鈴木雅明, 勝沼俊雄	14:00～14:50 第15群 喉頭気管 2 演題番号：62～66 座長：兵頭政光, 望月博之	14:00～14:50 第18群 口腔咽頭 2 演題番号：78～82 座長：川城信子, 椿 俊和
15:00	14:50～15:40 第13群 中耳 3 演題番号：52～56 座長：丹生健一, 仲野敦子	14:50～15:40 第16群 喉頭気管 3 演題番号：67～72 座長：竹内万彦, 吉原重美	14:50～15:40 第19群 口腔咽頭 3 演題番号：83～87 座長：原渕保明
16:00	閉会の辞		
17:00	16:30～17:30 市民公開講座 「子どもの鼻炎と中耳炎」 司会：重田 誠, 鎌田英男 演者：前田昇三, 竹越哲男		
18:00			
19:00			
20:00			

9F

第4会場 (妙義の間)	第5会場 (榛名の間)	第6会場 (浅間の間)	第7会場 (赤城の間)
参加受付開始			
	<p>13:10~14:20 第20群 鼻・喉頭・頸部 (ポスター) 演題番号: P14~P20 座長: 佐野光仁, 前田昇三</p>		<p>13:10~13:50 第21群 聴覚1 (ポスター) 演題番号: P21~P24 座長: 増田佐和子, 渡部登志雄</p>
			<p>13:50~14:40 第22群 聴覚2 (ポスター) 演題番号: P25~P29 座長: 清水猛史, 岡田恭典</p>

# 参加者へのご案内

---

## 1. 参加受付について

すべての参加登録は当日会場でのみ受付いたします。事前登録は行いません。当日、学会場受付にてご登録いただき、ネームカード（領収証付き）をお受け取り下さい。

会期中は必ずネームカードをご着用下さい。ネームカードのない方のご入場はお断りしますので、ご協力の程、宜しくお願い申し上げます。

参加登録費	医師	13,000円
	コメディカル	5,000円

## 受付場所・日時

前橋テルサ 1階ロビー

6月20日（木）8時00分～19時00分

6月21日（金）7時30分～14時00分

## 医学部学生、研修医の参加について

医学部学生、研修医（新医師臨床研修制度による）の参加が認められております。参加費は無料です。参加希望の方は5月31日（金）までに学会事務局（e-mail: ped8th@kyodo-cs.com）まで、氏名、所属、連絡先を明記の上、電子メールにてお申し込み下さい。

尚、当日会場受付にて所属責任者からの証明を確認させていただきます。

## 2. 専門医関連学術講演会参加登録/参加証について

当日の学会場受付にて、ネームカードを受け取り、所属・氏名をご記入いただいたネームカードを着用した上で、専門医参加登録/参加証の受け取りを行って下さい。

日本耳鼻咽喉科学会認定耳鼻咽喉科専門医の方は、「日耳鼻専門医証（IDカード）」および「学術集会参加報告票」が必要です。耳鼻咽喉科専門医受付にて登録を行ってください。

日耳鼻専門医証（IDカード）および学術集会参加報告票をお忘れの方は、「ネームカードのコピーとともに学術集会参加報告票」を学会終了後1週間以内に第8回日本小児耳鼻咽喉科学会事務局（〒371-8511 前橋市昭和町 3-39-22 群馬大学大学院医系学研究科小児科学分野）までご郵送ください。

### 3. 抄録集

当日、抄録集の購入を希望される方は参加受付（1階）でお問い合わせ下さい。1部2,000円で販売いたします。お支払いは現金のみとさせていただきます。

### 4. 会員懇親会

6月20日（木）19時より前橋テルサ8階けやきの間（第2会場）にて行います。会費は無料です。

ネームカードをご着用の上、奮ってご参加下さい。

### 5. クローク

1階ホワイエにクロークを設けますのでご利用下さい。

なお、貴重品に關しましては当事務局では責任を負いかねますので、各自お持ち下さい。

### 6. 書籍販売・機器展示・ドリンクサービス

2階ホワイエにて書籍を販売いたしております。

8階ホワイエにて機器展示・ドリンクサービスを行います。

皆様ご自由にご利用下さい。

### 7. モーニングセミナーについて

6月21日（金）けやきの間（第2会場）にて開催いたします。

軽食の準備があります。

### 8. ランチョンセミナーについて

6月20日（木）、21日（金）ともに、テルサホール（第1会場）、けやきの間（第2会場）にて行います。

### 9. スウィーツセミナーについて

ミートザエキスパート1および2は、スウィーツセミナーとして群馬名産のお菓子ができます。

楽しみにお待ちしております。

### 10. 伝言・呼び出しについて

各会場とも緊急時以外の呼び出しはいたしませんのでご了承下さい。

メッセージボードを用意いたしますのでご利用ください。

## 11. お願い

会場内は全て禁煙ですので館内での喫煙はお断りいたします。

会場内では携帯電話の電源をお切りになるか、マナーモードに設定願います。

## 12. 関連行事

理事会：6月20日（木）7時30分～8時20分 前橋テルサつつじの間（第3会場）

評議員会：6月20日（木）8時30分～9時20分 前橋テルサけやきの間（第2会場）

総会：6月20日（木）13時10分～13時40分 前橋テルサホール（第1会場）

# 発表についてのご案内

---

## 【一般演題発表の皆様へ】

口演は、PCでのPower Pointによるプレゼンテーションのみとさせていただきます。会場のPC環境は、OSがWindows（XP, Vista, 7）、アプリケーションはWindows版Power Point 2003・2007・2010となります。Macintoshをご使用の先生はPC本体をお持込ください。

※動画または音声を含む場合も、PC発表とさせていただきます。ビデオはご使用いただけませんので、ご了承ください。

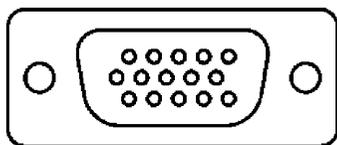
一般演題は、発表時間7分・討論3分で、投影は1面です。

## PC発表の注意点

発表の際は演台に設置しております操作用キーパッドを使って、演者ご自身により操作をお願いいたします。オペレーターによる操作をご希望の方は会場にて、事前に進行係にお伝えください。また、ご自身のPCを操作されることも可能です。

## 〈PC発表〉

- (1) 発表に際してはデータでお預かりの先生はUSBフラッシュメモリー（Windowsのみ）です。PC本体をお持込みの先生はWindows・Macintoshどちらでも可能です。動画をご使用の先生、Macをご希望の先生はPC本体をお持込みください。
- (2) 発表の1時間前までにPC受付（2Fホワイエ）にて用意したチェックシートに必要事項をご記入後、専門のPCオペレーター立ち会いのもと動作確認を行ってください。
- (3) 下記ルールに基づいたPC接続の標準環境のみをご用意いたします。表現される画面の不具合については全て演者の責任となりますのでご注意ください。
- (4) PC接続は外部出力端子がD-Sub-15ピンです。PCの機種によっては外部出力端子がD-Sub-15ピン以外のものがございますので、必ずD-Sub-15ピンで接続できるコネクタを各自ご持参ください。



D-sub-15ピン

- (5) ご持参されるPCでの外部ディスプレイ出力が可能であることを必ずご確認ください。また、バッテリー切れを防ぐために電源アダプターをご持参ください。
- (6) 必ず発表データ（動画がある場合は動画ファイルを含む）を含んだ予備のメディアをご持参ください。

(7) 当方での予備環境について

- ① OS : Windows (XP, Vista, 7)
- ② アプリケーション : Windows 版 Power Point 2003・2007・2010
- ③ 発表に使用できるデータ

Windows で作成した Microsoft Power Point のファイルのみとします。画面サイズは XGA (1024×768) になります。Mac 版 Power Point やその他のアプリケーションで作成されたデータは、受付できませんのでご注意ください。Mac 版 Power Point で作成したファイルを Windows 版 Power Point に変換した場合、データが正確に表現できない場合があります。上記環境の PC で全ての画面が不具合なく表現されることをあらかじめご確認の上、完成した形でお持ちください。

④ フォント

Windows XP (日本語版) に標準搭載されているフォントのみ使用可能です。

日本語 : MS ゴシック, MSP ゴシック, MS 明朝, MSP 明朝の 4 種類のみ。

英語 : Times New Roman, Arial, Arial Black, Arial Narrow, Century, Century Gothic, Courier, Courier New, Georgia の 9 種類のみ。

これ以外のフォントを使用した場合、正確に表現できない場合があります。

⑤ データ容量

データの容量は、650MB (総量) までとさせていただきます。

⑥ 動画について

動画を Power Point に埋め込む場合、Windows 版の Media Player で動作する形式をお使いください。これ以外のリアルタイムプレイヤー、クイックタイムプレイヤーなどの動画ソフトは利用できません。動画を使用する場合、リンク切れにご注意ください。メディアにコピーした後、作成した PC 以外での PC で動作確認することにより解決できます。尚、動画ファイルには拡張子を必ず付けてください。音声について PC からの音声再生につきましては一切対応いたしません。

⑦ メディアの持ち込み形式について

USB フラッシュメモリーのみ受付とさせていただきます。MO ディスク, スマートメディア, SD カード, メモリースティック, コンパクトフラッシュ等のメディアによる受付はいたしませんのでご注意ください。不測の事態に備えて、必ずバックアップデータをお持ちいただきますようお願い申し上げます。

⑧ データ名の統一について

持ち込まれるメディアには、当日発表されるデータ (完成版) 以外のデータを入れないでください。また、データのファイル名には、演題番号 (半角) に続けて、発表者の氏名 (漢字) を必ず付けてください。

### 〈ポスター作成要領〉

ポスターのボードの大きさは縦210 cm×横90 cm を準備いたします。

ポスターサイズの日安は

タイトル, 所属, 演者名: 縦20 cm×横70 cm

発表内容: 縦190 cm×横90 cm 以内となります。

- (1) ポスターの掲示は, 6月20日(金) 午前9時より午前11時までの間に所定の演題番号が記載されたボードに掲示ください。ポスター会場前の受付にて掲示用ピンを受け取り, 所定の時間内に所定の場所に掲示して下さい。
- (2) 発表予定時間10分前にはポスターの前でお待ちください。
- (3) ポスターは6月21日(金) 15時30分から16時00分までの間に撤去してください。撤去の時間を過ぎてても掲示してあるポスターは学会事務局にて処分いたします。

### 【司会・座長の先生方へ】

- 1) セッション開始30分前までに必ず進行係(各会場右前方)にお声をお掛けください。
- 2) 各セッションの進行は司会・座長の先生方にお任せ致します。定刻通りの進行をお願い致します。

### 【討論・発言について】

- 1) 多くの会員の活発な討論・発言を歓迎致します。
- 2) 発言される方はあらかじめフロアマイクの前に待機し, 司会者・座長の指示に従って氏名・所属を述べた上で簡潔明瞭に行ってください。

### 【呼び出しについて】

各会場とも緊急事態以外の呼び出しはいたしませんのでご了承ください。  
メッセージボードを用意いたしますのでご利用ください。

### 【連絡先】

第8回日本小児耳鼻咽喉科学会事務局

群馬大学大学院医学系研究科 小児科学分野

事務局長: 滝沢琢己

〒371-8511 前橋市昭和町 3-39-22

TEL: 027-220-8200 FAX: 027-220-8216

E-mail: ped8th@kyodo-cs.com

# 第8回日本小児耳鼻咽喉科学会総会 学術講演会 演題プログラム

## 第1日目 平成25年6月20日(木)

(第1日目：第1会場)

開会の辞 9:25~9:30

会長：荒川 浩一

(群馬大学大学院医学系研究科小児科学分野)

会長講演 9:30~10:00

アレルギー性疾患発症因子の解明 —出生コホートからエピジェネティクスまで—

司会：森川 昭廣

(社会福祉法人希望の家附属北関東アレルギー  
研究所)

演者：荒川 浩一

(群馬大学大学院医学系研究科小児科学分野)

一般演題：口演

第1群 聴覚1 10:00~10:50

座長：西崎 和則

(岡山大学大学院医歯薬学総合研究科耳鼻咽  
喉・頭頸部外科学)

大木 康史

(群馬大学医学部附属病院周産母子センター)

- 1 群馬県における新生児聴覚スクリーニング「refer児」に対する  
早期療育体制と現況

○長井 今日子, 中島 恭子, 村田 考啓, 横堀 有紀, 富澤 紘恵,  
宮崎 眞祈, 小原 透, 篠原 悠子, 近松 一朗  
群馬大学医学部耳鼻咽喉科・頭頸部外科

- 2 1歳6か月児健診後に精査目的で受診した児の検討

○吉野 真代<sup>1)</sup>, 新谷 朋子<sup>1,2)</sup>, 才川 悦子<sup>2)</sup>, 小笠原 徳子<sup>2)</sup>, 海崎 文<sup>2)</sup>,  
北川 可恵<sup>3)</sup>, 氷見 徹夫<sup>2)</sup>

1) とも耳鼻科クリニック

2) 札幌医科大学耳鼻咽喉科

3) 北海道子ども総合医療・療育センター耳鼻咽喉科

- 3 当科における在日外国人の難聴児支援の実態  
○小原 透, 篠原 悠子, 長井 今日子, 中島 恭子, 村田 考啓, 近松 一郎  
群馬大学医学部附属病院耳鼻咽喉科
- 4 外来でできる言語発達障害児検査法(田中)の難聴児への活用  
○田中 美郷<sup>1,2)</sup>, 針谷 しげ子<sup>1)</sup>, 松本 恭子<sup>1)</sup>  
1) 神尾記念病院  
2) 田中美郷教育研究所
- 5 一側高度難聴として発見され健側聴力の変動を伴う低下を来した  
先天性サイトメガロウイルス感染症の2例  
○阪本 浩一, 大津 雅秀  
兵庫県立こども病院耳鼻咽喉科

第2群 聴覚2 10:50~11:40

座長: 細井 裕司

(奈良県立医科大学耳鼻咽喉・頭頸部外科学講座)

千田 勝一(岩手医科大学小児科)

- 6 重度聴覚障害児1例における言語獲得の長期経過  
○橋本 かほる<sup>1)</sup>, 能登谷 晶子<sup>1,2)</sup>, 原田 浩美<sup>3)</sup>, 伊藤 真人<sup>1,4)</sup>  
1) 金沢大学大学院医学系研究科  
2) 金沢大学医薬保健研究域保健学系  
3) 聖隷クリストファー大学リハビリテーション学部言語聴覚学科  
4) 金沢大学医薬保健研究域医学系
- 7 先天性一側性難聴児の幼児期後期・学齢期の言語発達についての検討  
○長嶋 比奈美<sup>1,2)</sup>, 佐藤 公美<sup>1,2)</sup>, 島田 亜紀<sup>1)</sup>, 千田 いづみ<sup>1)</sup>,  
宇高 二良<sup>1,2)</sup>, 武田 憲昭<sup>1)</sup>  
1) 徳島大学耳鼻咽喉科学教室  
2) 宇高耳鼻咽喉科医院
- 8 親の障害受容が遅れた重度聴覚障害児における言語獲得の経過  
○山崎 憲子<sup>1)</sup>, 能登谷 晶子<sup>2)</sup>, 橋本 かほる<sup>3)</sup>, 伊藤 真人<sup>4)</sup>,  
鈴鹿 有子<sup>5)</sup>, 三輪 高喜<sup>5)</sup>  
1) 金沢医科大学病院リハビリテーションセンター  
2) 金沢大学医薬保健研究域  
3) 金沢大学大学院  
4) 金沢大学耳鼻咽喉科  
5) 金沢医科大学耳鼻咽喉科
- 9 徳島県における補聴器装用児の現状  
○島田 亜紀<sup>1)</sup>, 千田 いづみ<sup>1)</sup>, 長嶋 比奈美<sup>1,2)</sup>, 宇高 二良<sup>1,2)</sup>,  
武田 憲昭<sup>1)</sup>  
1) 徳島大学耳鼻咽喉科  
2) 宇高耳鼻咽喉科医院

10 広島市における軽・中等度難聴児補聴器購入費助成事業の現況

○井口 郁雄<sup>1)</sup>, 江草 憲太郎<sup>1)</sup>, 永見 慎輔<sup>1)</sup>, 佐藤 朋子<sup>2)</sup>,  
益田 慎<sup>3)</sup>, 福島 典之<sup>4)</sup>, 石野 岳志<sup>5)</sup>, 平川 勝洋<sup>5)</sup>

- 1) 広島市立広島市民病院耳鼻咽喉科・頭頸部外科
- 2) 広島市こども療育センター山彦園
- 3) 県立広島病院小児感覚器科
- 4) 県立広島病院耳鼻咽喉科・頭頸部外科
- 5) 広島大学大学院耳鼻咽喉科・頭頸部外科

ランチオンセミナー 1 12:00~13:00

「小児急性中耳炎・副鼻腔炎診療ガイドライン  
～小児科と耳鼻咽喉科から～」

司会：高橋 晴雄

(長崎大学大学院医歯薬学総合研究科  
耳鼻咽喉・頭頸部外科学分野)

高瀬 真人 (日本医科大学多摩永山病院小児科)

一小児科医としての考え方

尾内 一信

川崎医科大学小児科学講座

耳鼻咽喉科から

工藤 典代

千葉県立保健医療大学健康科学部栄養学科

特別講演 1 13:50~14:50

耳鼻咽喉科臨床と自閉症スペクトラム障害

司会：荒川 浩一

(群馬大学大学院医学系研究科小児科学分野)

演者：吉田 友子

(ペック研究所・よこはま発達クリニック)

ミーティング エキスパート 1 15:00~15:50

扁桃・アデノイドはなぜあるのか？鼻はなにをしているのか？

—小児の粘膜免疫・粘膜防御最前線—

司会：市村 恵一

(自治医科大学医学部耳鼻咽喉科学講座)

○氷見 徹夫, 高野 賢一, 小笠原 徳子, 森山 亜由美  
札幌医科大学医学部耳鼻咽喉科

シンポジウム1 16:00~17:30

「プライマリー医が悩む小児気道症状」

司会：川崎 一輝（国立成育医療研究センター呼吸器科）

峯田 周幸（浜松医科大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科）

慢性咳嗽の鑑別診断と気道アレルギー

○徳山 研一<sup>1,2)</sup>

1) 埼玉医科大学病院小児科

2) 埼玉医科大学アレルギーセンター

小児アレルギー性鼻炎診療の問題点と対応～鼻閉を中心に～

○湯田 厚司

ゆたクリニック

小児睡眠時無呼吸に対するアデノイド切除・口蓋扁桃摘出術

○林 達哉<sup>1)</sup>, 吉崎 智貴<sup>2)</sup>, 野村 研一郎<sup>1)</sup>, 片田 彰博<sup>1)</sup>, 國部 勇<sup>1)</sup>,

原洵 保明<sup>1)</sup>

1) 旭川医科大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科

2) 旭川厚生病院耳鼻咽喉科

乳幼児の呼気性喘鳴

○川崎 一輝

国立成育医療研究センター呼吸器科

一般演題：口演

第3群 遺伝子・他 17:40~18:30

座長：宇佐美 真一（信州大学医学部耳鼻咽喉科）

長井 今日子

（群馬大学大学院医学系研究科耳鼻咽喉・頭頸部外科学）

11 OTOF 遺伝子変異による Auditory neuropathy 症例の臨床像と

人工内耳の効果に関する検討

○岩佐 陽一郎, 吉村 豪兼, 工 穰, 宇佐美 真一

信州大学医学部耳鼻咽喉科

12 同一の GJB2 遺伝子変異を有する同胞（兄弟姉妹）の聴覚

○藤岡 正人<sup>1,8)</sup>, 守本 倫子<sup>2)</sup>, 阪本 浩一<sup>3)</sup>, 大津 雅秀<sup>3)</sup>, 仲野 敦子<sup>4)</sup>,  
有本 友季子<sup>4)</sup>, 増田 佐和子<sup>5)</sup>, 杉内 智子<sup>6)</sup>, 益田 慎<sup>7)</sup>, 加我 君孝<sup>8)</sup>,  
松永 達雄<sup>8)</sup>

- 1) 神奈川県警友会けいゆう病院耳鼻咽喉科
- 2) 国立成育医療研究センター耳鼻咽喉科
- 3) 兵庫県立こども病院耳鼻咽喉科
- 4) 千葉県立こども病院耳鼻咽喉科
- 5) 国立病院機構三重病院耳鼻咽喉科
- 6) 関東労災病院耳鼻咽喉科
- 7) 県立広島病院小児感覚器科
- 8) 国立病院機構東京医療センター臨床研究センター耳鼻咽喉科

13 前庭水管拡大症で認められた SLC26A4 遺伝子変異と臨床的特徴

○松永 達雄<sup>1)</sup>, 加我 君孝<sup>1)</sup>, 仲野 敦子<sup>2)</sup>, 有本 友季子<sup>2)</sup>, 杉内 智子<sup>3)</sup>,  
泰地 秀信<sup>4)</sup>, 守本 倫子<sup>4)</sup>, 阪本 浩一<sup>5)</sup>, 大津 雅秀<sup>5)</sup>, 増田 佐和子<sup>6)</sup>,  
小河原 昇<sup>7)</sup>

- 1) 国立病院機構東京医療センター臨床研究センター耳鼻咽喉科
- 2) 千葉県立こども病院耳鼻咽喉科
- 3) 関東労災病院耳鼻咽喉科
- 4) 国立成育医療研究センター耳鼻咽喉科
- 5) 兵庫県立こども病院耳鼻咽喉科
- 6) 国立病院機構三重病院耳鼻咽喉科
- 7) 神奈川県立こども医療センター耳鼻咽喉科

14 次世代シーケンサーによって原因が見出された *TECTA* および  
*MYO15A* 遺伝子変異による先天性難聴

○宮川 麻衣子<sup>1)</sup>, 西尾 信哉<sup>1)</sup>, 池田 卓生<sup>2)</sup>, 福島 邦博<sup>3)</sup>, 宇佐美 真一<sup>1)</sup>

- 1) 信州大学医学部耳鼻咽喉科
- 2) 鼓ヶ浦こども医療福祉センター
- 3) 岡山大学医学部耳鼻咽喉科

15 蝸牛神経低形成によると考えられる小児一側性難聴の臨床像について

○塚田 景大, 宮川 麻衣子, 工 稔, 宇佐美 真一  
信州大学医学部耳鼻咽喉科

(第1日目：第2会場)

一般演題：口演

第4群 頸部1 10：00～10：50

座長：鈴鹿 有子（金沢医科大学耳鼻咽喉科）

高瀬 真人（日本医科大学多摩永山病院小児科）

16 MRSAによる鼻前庭周囲の伝染性膿痂疹に伴う頸部化膿性リンパ節炎の1例

○長谷川 雅世，原 真理子，新鍋 晶浩，金沢 弘美，吉田 尚弘，  
飯野 ゆき子

自治医科大学さいたま医療センター

17 入院加療を要した小児深頸部感染症の検討

○洲崎 勲夫，小林 一女，田中 義人，鈴木 貴裕，工藤 睦男，洲崎 春海  
昭和大学医学部耳鼻咽喉科学教室

18 頸部膿瘍で発症した乳児期好中球減少症（顆粒球減少症）の1例

○大塚 雄一郎

成田赤十字病院 耳鼻咽喉科

19 当科における小児頸部膿瘍症例の検討

○成尾 一彦，伊藤 妙子，森本 千裕，山下 哲範，太田 一郎，細井 裕司  
奈良県立医科大学耳鼻咽喉・頭頸部外科学教室

20 切開排膿を必要とした乳幼児の頸部膿瘍症例

○油井 健史，渡邊 彩，本間 博臣，小野 智裕，竹村 栄毅  
横浜労災病院耳鼻咽喉科

第5群 頸部2・平衡 10：50～11：40

座長：坂田 英明（目白大学保健医療学部言語聴覚科）

王 康雅（東海大学医学部付属八王子病院小児科）

21 小児の頸部リンパ節生検症例の経験

○鈴木 大士，鹿野 真人

大原綜合病院 耳鼻咽喉科・頭頸部顔面外科

22 側頸瘻（完全瘻）の1例

○山田 奏子，稲垣 信吾，鈴鹿 有子，三輪 高喜

金沢医科大学 耳鼻咽喉科

23 小児頭頸部・耳科手術における術後環軸椎回旋性亜脱臼の検討

○下野 真理子，藤本 保志，大竹 宏直，曾根 三千彦，中島 務  
名古屋大学医学部耳鼻咽喉科

24 治療により通学可能となった小児めまい，歩行障害症例の2例

○五島 史行<sup>1)</sup>，木村 朱里<sup>2)</sup>，三塚 沙希<sup>2)</sup>，水足 邦雄<sup>2)</sup>，守本 倫子<sup>2)</sup>

1) 独立行政法人国立病院機構東京医療センター耳鼻咽喉科

2) 国立成育医療研究センター病院耳鼻咽喉科

- 25 慢性・浮動性・動揺性めまいを訴えた、  
一側性 1, 2 KHz 急墜型聴力を呈した一症例  
○遠藤 まゆみ<sup>1)</sup>, 坂田 英明<sup>2)</sup>  
1) 目白大学クリニック  
2) 目白大学保健医療学部言語聴覚学科

ランチオンセミナー 2 12:00~13:00

「小児難聴, 人工内耳」

司会: 東野 哲也

(宮崎大学医学部感覚運動医学講座耳鼻咽喉・  
頭頸部外科学教室)

新生児聴覚スクリーニングと補聴と人工内耳

- 加我 君孝  
東京医療センター臨床研究センター  
国際医療福祉大学三田病院

幼少時の体験と人工内耳

- 竹澤 公美子  
滋賀医科大学医学部大学院医学系研究科

ミーティング エキスパート 2 15:00~15:50

「診撮」 正常鼓膜と病的鼓膜の所見を読む

司会: 中川 尚志 (福岡大学医学部耳鼻咽喉科)

- 上出 洋介  
かみで耳鼻咽喉科クリニック

シンポジウム 2 16:00~17:40

「難治小児疾患へのチャレンジ airway problem と嚥下障害」

司会: 林 泰秀 (群馬県立小児医療センター)

安岡 義人

(医療法人鶴谷会鶴谷病院耳鼻咽喉科)

小児の声帯麻痺と声門部狭窄

- 守本 倫子  
国立成育医療研究センター耳鼻咽喉科

小児 GER の治療の現況と今後の展望

○西 明, 土岐 文彰, 山本 英輝

群馬県立小児医療センター外科

神経・筋疾患児の呼吸管理 ～誤嚥防止術を中心に～

○渡辺 美緒

群馬県立小児医療センター神経内科

障害児の嚥下障害

○森 正博

森耳鼻咽喉科

喉頭気管分離術後の食道-喉頭発声について

○梅崎 俊郎

九州大学病院耳鼻咽喉科・頭頸部外科

〈特別発言〉

棚橋汀路

日本聴能言語学院

(第1日目：第3会場)

一般演題：口演

第6群 腫瘍・他 10：00～10：50

座長：福永 慶隆（日本医科大学小児科）

横山 純吉（順天堂大学耳鼻咽喉科学）

- 26 蔓状神経線維腫と診断された巨大頸部腫瘍の一例  
○三塚 沙希, 水足 邦雄, 木村 朱里, 守本 倫子  
国立成育医療研究センター耳鼻咽喉科
- 27 中耳から上咽頭へ伸展した小児 rhabdomyosarcoma の1例  
○工 穰, 塚田 景大, 宇佐美 真一  
信州大学医学部耳鼻咽喉科
- 28 咬筋内神経鞘腫の1例  
○横山 純吉, 池田 勝久  
順天堂大学医学部耳鼻咽喉・頭頸科
- 29 鼻 NK/T 細胞リンパ腫  
○柴 徳生<sup>1)</sup>, 田村 一志<sup>2)</sup>, 金澤 崇<sup>1)</sup>, 滝沢 琢己<sup>1)</sup>, 荒川 浩一<sup>1)</sup>  
1) 群馬大学医学部小児科  
2) たむらこどもクリニック
- 30 鋤骨（じょこつ）を除去したことで経過良好であった先天性後鼻孔閉鎖の1例  
○大塚 雄一郎  
成田赤十字病院耳鼻咽喉科

第7群 鼻副鼻腔 10：50～11：40

座長：春名 眞一（獨協医科大学耳鼻咽喉・頭頸部外科）

川崎 一輝（国立成育医療研究センター 呼吸器科）

- 31 当科で経験した乳児鼻中隔膿瘍の1例  
○森山 亜由美, 高野 賢一, 小笠原 徳子, 氷見 徹夫  
札幌医科大学医学部耳鼻咽喉科
- 32 小児における上顎洞超音波検査  
○森 文<sup>1)</sup>, 月舘 利治<sup>2)</sup>, 深美 悟<sup>1)</sup>, 平林 秀樹<sup>1)</sup>, 春名 眞一<sup>1)</sup>  
1) 獨協医科大学耳鼻咽喉・頭頸部外科  
2) 東京厚生年金病院耳鼻咽喉科
- 33 肺炎球菌抗原検出キット「ラピラン®肺炎球菌 HS」を用いた急性鼻副鼻腔炎の起炎菌検出の意義について  
○宮部 はるか, 馬谷 昌範, 川島 佳代子  
国家公務員共済組合連合会大手前病院耳鼻咽喉科
- 34 当科で手術加療を要した小児鼻・副鼻腔疾患の検討  
○西村 将彦, 池田 勝久  
順天堂大学医学部耳鼻咽喉科

- 35 ポリープを伴う小児慢性副鼻腔炎に対する内視鏡下鼻内手術の有効性  
—長期経過観察による術後評価—

○月舘 利治<sup>1)</sup>, 春名 眞一<sup>2)</sup>, 森山 寛<sup>3)</sup>

- 1) 東京厚生年金病院耳鼻咽喉科
- 2) 獨協医科大学耳鼻咽喉・頭頸部外科
- 3) 東京慈恵会医科大学耳鼻咽喉科

第8群 音声言語・他 17:40~18:40

座長：山嵜 達也

(東京大学大学院医学系研究科耳鼻咽喉科学分野)

田中 美郷

(田中美郷教育研究所・大阪保健医療大学大学院)

- 36 群馬大学歯科口腔外科における口蓋裂患者の言語機能向上に向けた取り組み

○五味 暁憲, 神戸 智幸, 牧口 貴哉, 宮崎 英隆, 根岸 明秀, 横尾 聡

群馬大学大学院医学系研究科顎口腔科学分野

- 37 言語発達遅延児のITPA検査について

○奥中 美恵子<sup>1)</sup>, 任 智美<sup>2)</sup>, 北條 和歌<sup>3)</sup>, 阪上 雅史<sup>2)</sup>

- 1) 明和病院
- 2) 兵庫医科大学耳鼻咽喉科教室
- 3) 尼崎中央病院

- 38 学校健診における音声異常の検討

○高原 由衣<sup>1)</sup>, 池田 美穂<sup>1)</sup>, 佐藤 公美<sup>1,2)</sup>, 長嶋 比奈美<sup>1,2)</sup>,  
宇高 二良<sup>1,2)</sup>, 島田 亜紀<sup>2)</sup>, 千田 いつみ<sup>2)</sup>, 武田 憲昭<sup>2)</sup>

- 1) 宇高耳鼻咽喉科医院
- 2) 徳島大学耳鼻咽喉科学教室

- 39 低年齢児人工内耳手術の術後露出に対する皮弁を用いた被覆術

～被覆術式の検討と人工内耳入れ替えの是非～

○牧口 貴哉<sup>1)</sup>, 村田 考啓<sup>2)</sup>, 長井 今日子<sup>2)</sup>, 横尾 聡<sup>1)</sup>, 近松 一郎<sup>2)</sup>

- 1) 群馬大学大学院医学系研究科顎口腔科学分野
- 2) 群馬大学大学院医学系研究科耳鼻咽喉科・頭頸部外科学分野

- 40 小児人工内耳手術—正円窓経由の電極挿入

○土井 勝美, 佐藤 満雄, 小林 孝光, 宮下 美恵, 斎藤 和也  
近畿大学医学部耳鼻咽喉科

- 41 当科における人工内耳装用の中・高・大学生の進学状況について

○海崎 文<sup>1)</sup>, 新谷 朋子<sup>1,2)</sup>, 才川 悦子<sup>1)</sup>, 小笠原 徳子<sup>1)</sup>, 吉野 真代<sup>2)</sup>,  
北川 可恵<sup>3)</sup>, 水見 徹夫<sup>1)</sup>

- 1) 札幌医科大学耳鼻咽喉科
- 2) とも耳鼻科クリニック
- 3) 北海道立こども総合医療・療育センター耳鼻咽喉科

(第1日目：第4会場)

一般演題：ポスター

第9群 耳 (ポスター) 17:40-18:50

座長：大越 俊夫 (東邦大学医療センター大橋病院)

加藤 政彦

(群馬県立小児医療センターアレルギー感染免疫・呼吸器科)

- P1 小児滲出性中耳炎に対するバルーン (Otovent®) による自己通気療法の使用経験  
○臼井 智子, 増田 佐和子  
国立病院機構三重病院耳鼻咽喉科
- P2 難治性の滲出性中耳炎に対する自己通気療法の検討  
○仲野 敦子<sup>1)</sup>, 有本 友季子<sup>1)</sup>, 工藤 典代<sup>2)</sup>  
1) 千葉県こども病院耳鼻咽喉科  
2) 千葉県立保健医療大学健康科学部栄養学科
- P3 毛笛を利用した, 口蓋裂患児における耳管機能検査の試み  
○犬塚 恵美子, 吉岡 哲志, 堀部 晴司, 内藤 健晴  
藤田保健衛生大学医学部耳鼻咽喉科
- P4 口蓋裂症例の滲出性中耳炎に対する鼓膜チューブの最適な留置期間の検討  
○山田 尚宏, 小林 一女, 洲崎 春海  
昭和大学医学部耳鼻咽喉科学教室
- P5 生後一ヶ月で急性乳様突起炎を併発したムコース中耳炎の1例  
○朝日 淳仁, 久保田 圭一  
市立稚内病院耳鼻咽喉科
- P6 小児先天性真珠腫に対して手術治療を行った26例の検討  
○瀧澤 義徳<sup>1)</sup>, 水田 邦博<sup>1)</sup>, 石川 竜司<sup>1)</sup>, 細川 久美子<sup>1)</sup>, 高橋 吾郎<sup>1)</sup>,  
三澤 清<sup>1)</sup>, 細川 誠二<sup>1)</sup>, 峯田 周幸<sup>1)</sup>, 姜 洪仁<sup>2)</sup>  
1) 浜松医科大学医学部耳鼻咽喉科・頭頸部外科  
2) きょう耳鼻咽喉科
- P7 当院で簡易型ポリソムノグラフィー検査を施行した48例の検討  
○西田 豊, 八木 久子, 滝沢 琢己, 荒川 浩一  
群馬大学大学院医学系研究科小児科学

(第1日目：第6会場)

一般演題：ポスター

第10群 口腔・鼻（ポスター） 17：40～18：50

座長：徳山 研一（埼玉医科大学小児科）

阪本 浩一（兵庫県立こども病院耳鼻咽喉科）

P8 山梨における小児睡眠時呼吸障害の診察システムについて

○渡辺 浩介<sup>1)</sup>，杉山 剛<sup>2)</sup>，石井 裕貴<sup>1)</sup>，増山 敬祐<sup>1)</sup>

1) 山梨大学医学部頭頸部耳鼻咽喉科

2) 山梨大学医学部小児科

P9 小児睡眠時無呼吸症に対する鼻腔通気性の評価の試み

○山口 宗太，大木 幹文，大越 俊夫

東邦大学医療センター大橋病院耳鼻咽喉科

P10 閉塞性睡眠時無呼吸およびアレルギー性鼻炎を有する小児の歯科治療例

○佐藤 妃枝子<sup>1)</sup>，坂田 英明<sup>2,3)</sup>，新国 七生子<sup>1)</sup>，白川 哲夫<sup>1)</sup>，

浅沼 聡<sup>4)</sup>，安達 のどか<sup>4)</sup>

1) 日本大学歯学部小児歯科学講座

2) 目白大学保健医療学部言語聴覚学科

3) 目白大学クリニック

4) 埼玉県立小児医療センター耳鼻咽喉科

P11 ビワによる口腔アレルギー症候群の親子例

○八木 久子<sup>1)</sup>，西田 豊<sup>1)</sup>，小山 晴美<sup>1)</sup>，滝沢 琢己<sup>1)</sup>，荒川 浩一<sup>1)</sup>，

森川 昭廣<sup>2)</sup>

1) 群馬大学大学院医学系研究科小児科学分野

2) 社会福祉法人希望の家附属北関東アレルギー研究所

P12 小児の花粉症の特徴

○大澤 陽子<sup>1)</sup>，森川 太洋<sup>1)</sup>，藤枝 重治<sup>2)</sup>

1) 公立丹南病院耳鼻咽喉科

2) 福井大学医学部耳鼻咽喉科学教室

P13 スギ花粉症患者と保護者へのアンケート調査の比較

○増田 佐和子，臼井 智子

国立病院機構三重病院耳鼻咽喉科

P30 尿中ロイコトリエン E4 による乳幼児初回呼吸性喘鳴疾患群の検討

○田端 雅彦<sup>1)</sup>，森川 昭廣<sup>2)</sup>，滝沢 琢己<sup>3)</sup>，八木 久子<sup>3)</sup>，

小山 晴美<sup>3)</sup>，佐藤 幸一郎<sup>3)</sup>，荒川 浩一<sup>3)</sup>

1) 医療法人恵洋愛会 どんぐりこども診療所

2) 社会福祉法人希望の家附属北関東アレルギー研究所

3) 群馬大学大学院医学系研究科小児科学

## 第 2 日目 平成25年 6 月21日 (金)

(第 2 日目 : 第 1 会場)

シンポジウム 3 9 : 10 ~ 10 : 50

「中耳炎に対する保存療法, 手術療法の選択」

司会 : 河野 陽一 (労働者健康福祉機構千葉労災病院)

小林 俊光 (東北大学大学院耳鼻咽喉科・頭頸部外科)

滲出性中耳炎に対する鼓膜チューブ留置術について

飯野 ゆき子

自治医科大学附属さいたま医療センター耳鼻咽喉科

中耳炎の手術適応と問題点

伊藤 真人

金沢大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科

小児中耳炎の保存療法

鈴木 賢二

藤田保健衛生大学坂文種報徳會病院耳鼻咽喉科・頭頸部外科

繰り返す中耳炎から何を考えますか?

金兼 弘和

富山大学医学部小児科

特別講演 2 11 : 00 ~ 11 : 50

子どものこころとことばの育ち —親子を共に支援するために—

司会 : 近松 一朗

(群馬大学大学院医学系研究科耳鼻咽喉科  
頭頸部外科)

演者 : 中川 信子 (子どもの発達支援を考える ST の会)

ランチオンセミナー3 12:00~13:00

「アレルギー性鼻炎」

座長：吉原 重美（獨協医科大学小児科）

岡本 美孝

（千葉大学大学院医学研究院耳鼻咽喉科・頭頸部腫瘍学）

こどもの喘息・アレルギー性鼻炎・副鼻腔炎

勝沼 俊雄

東京慈恵会医科大学附属第三病院小児科

小児のアレルギー性鼻炎

増山 敬祐

山梨大学医学部耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座

一般演題：口演

第11群 中耳1 13:10~14:00

座長：小林 一女（昭和大学医学部耳鼻咽喉科学）

高橋 克昌

（群馬大学大学院医学系研究科耳鼻咽喉・頭頸部外科学）

42 当院における先天性小耳症，先天性外耳道閉鎖症例の検討

○小笠原 徳子<sup>1)</sup>，才川 悦子<sup>1)</sup>，川端 文<sup>1)</sup>，高野 賢一<sup>1)</sup>，森山 亜由美<sup>1)</sup>，  
吉野 真代<sup>2)</sup>，四柳 高敏<sup>3)</sup>，新谷 朋子<sup>2)</sup>，氷見 徹夫<sup>1)</sup>

1) 札幌医科大学耳鼻咽喉科学教室

2) とも耳鼻咽喉科クリニック

3) 札幌医科大学形成外科教室

43 先天性真珠腫の発生部位の国際的地域差について

～システック・レビューとメタ分析からみて～

○日高 浩史，小林 俊光

東北大学医学部耳鼻咽喉・頭頸部外科

44 当科で経験した先天性真珠腫の検討

○齋藤 和也，小林 孝光，佐藤 満雄，宮下 美恵，土井 勝美

近畿大学医学部耳鼻咽喉科

45 軽度難聴のみを呈した先天性真珠腫例

○田邊 牧人，老木 浩之，長谷川 陽一

山本中耳サージセンター

46 内視鏡を用いた先天性真珠腫の治療法

○窪田 俊憲<sup>1)</sup>，渡辺 知緒<sup>2)</sup>，伊藤 吏<sup>1)</sup>，古川 孝俊<sup>2)</sup>，欠畑 誠治<sup>2)</sup>

1) 山形市立病院済生館耳鼻いんこう科

2) 山形大学医学部耳鼻咽喉・頭頸部外科学講座

第12群 中耳2 14:00~14:50

座長：鈴木 雅明

(帝京大学ちば総合医療センター耳鼻咽喉科)

勝沼 俊雄

(東京慈恵会医科大学附属第三病院小児科)

- 47 入院治療を行った小児急性中耳炎症例の検討  
○長友 孝文<sup>1)</sup>, 笹村 佳美<sup>2)</sup>, 島田 茉莉<sup>1)</sup>, 市村 恵一<sup>1)</sup>  
1) 自治医科大学医学部耳鼻咽喉科  
2) 自治医科大学とちぎ子ども医療センター耳鼻咽喉科
- 48 小児急性中耳炎における, 新規抗菌薬デビペナムと  
トスフロキサシンの感受性について  
○澤田 正一  
さわだ耳鼻咽喉科・眼科
- 49 小児急性中耳炎に対するロイコトリエン拮抗薬の効果  
○中村 善久, 村上 信五  
名古屋市立大学医学部耳鼻咽喉科
- 50 小児における鼓膜チューブ留置後の長期予後に関する検討  
○木下 佳奈<sup>1)</sup>, 松井 和夫<sup>2,3)</sup>, 大田 隆之<sup>3)</sup>, 久保田 亘<sup>3)</sup>  
1) 聖隷浜松病院耳鼻咽喉科  
2) 聖隷浜松病院耳センター  
3) 聖隷横浜病院耳鼻咽喉科
- 51 小児真珠腫性中耳炎における顔面神経露出症例の検討  
○新鍋 晶浩, 長谷川 雅世, 原 真理子, 松澤 真吾, 金沢 弘美,  
吉田 尚弘, 飯野 ゆき子  
自治医科大学附属さいたま医療センター耳鼻咽喉科

第13群 中耳3 14:50~15:40

座長：丹生 健一

(神戸大学耳鼻咽喉科頭頸部外科)

仲野 敦子

(千葉県こども病院耳鼻咽喉科)

- 52 新しい鼓膜形成術(結合組織塊鼓室内留置法)の小児における有用性  
○中嶋 正人, 加瀬 康弘  
埼玉医科大学病院耳鼻咽喉科
- 53 小児中耳手術症例の聴力と乳突蜂巣発育  
○矢間 敬章, 長谷川 賢作, 國本 泰臣, 久家 純子, 北野 博也  
鳥取大学医学部感覚運動医学講座耳鼻咽喉・頭頸部外科学分野
- 54 小児難治性中耳炎とその後遺症について  
○加藤 俊徳  
加藤耳鼻咽喉科医院

55 口蓋形成術の施行年齢と滲出性中耳炎

○小河原 昇, 井上 真規, 田辺 輝彦

神奈川県立こども医療センター耳鼻咽喉科

56 繰り返す耳介潰瘍にて発症した小児期発症ペーチェット病の1例

○石毛 崇<sup>1)</sup>, 友政 剛<sup>1,2)</sup>, 羽鳥 麗子<sup>1)</sup>, 龍城 真衣子<sup>1)</sup>, 金子 浩章<sup>3)</sup>,

溝口 史剛<sup>4)</sup>, 荒川 浩一<sup>1)</sup>

1) 群馬大学大学院医学系研究科小児科学

2) パルこどもクリニック

3) みらいこどもクリニック

4) 群馬県済生会前橋病院小児科

市民公開講座「子どもの鼻炎と中耳炎」 16:30~17:30

司会：重田 誠（重田こどもアレルギークリニック）

鎌田 英男

（群馬大学医学部附属病院地域医療推進研究部内）

「子どものアレルギー性鼻炎」群馬県における花粉症の特徴から口腔アレルギー症候群まで

前田 昇三

伊勢崎市民病院小児科

お母さんに知っておいて欲しい耳鼻科のはなし—中耳炎からめまいまで

竹越 哲男

竹越耳鼻咽喉科医院

社会保険群馬中央総合病院耳鼻咽喉科

(第2日目：第2会場)

モーニングセミナー 8:00~9:00

「One airway One disease」

司会：黒野 祐一

(鹿児島大学大学院医歯学総合研究科耳鼻咽喉科・  
頭頸部外科学)

アレルギーマーチとしての One airway one disease

藤澤 隆夫

国立病院機構三重病院小児科

アレルギー性鼻炎からみた one airway one disease

藤枝 重治

福井大学医学部耳鼻咽喉科・頭頸部外科学

シンポジウム4 9:10~10:50

「予防接種のインパクト」

総合司会：森内 浩幸 (長崎大学大学院医歯薬学総合研究  
科感染病態制御学 (小児科))

司会+演者：岡田 賢司

(福岡歯科大学全身管理・医歯学部門  
総合医学講座小児科学分野)

細菌性髄膜炎予防ワクチン定期接種化のインパクトを考える

小児耳鼻咽喉科領域感染症への影響も含めて

石和田 稔彦

千葉大学医学部附属病院感染症管理治療部

日本の予防接種制度 ―ワクチンギャップをどう埋めるか?―

齋藤 昭彦

新潟大学医歯学総合研究科小児科学分野

ミート ザ エキスパート3 11:00~11:50

多剤薬剤耐性菌の現状

司会：望月 博之 (東海大学医学部専門診療学系小児科学)

池 康嘉

群馬大学名誉教授

ランチョンセミナー4 12:00~13:00

「耳鼻科領域における先天性代謝異常疾患」

司会：小川 郁 (慶應義塾大学耳鼻咽喉科)

ムコ多糖症の早期診断とスクリーニング法について

奥山 虎之

国立成育医療研究センターライソゾーム病センター

ムコ多糖症の呼吸器症状

守本 倫子

国立成育医療研究センター耳鼻咽喉科

一般演題：口演

第14群 喉頭気管1 13：10～14：00

座長：前田 貢作（自治医科大学小児外科）

小河原 昇

（神奈川県立こども医療センター耳鼻咽喉科）

57 小児気管切開：成育医療研究センターにおける11年間175例のまとめ

○問田 千晶<sup>1)</sup>，壺井 伯彦<sup>1)</sup>，六車 崇<sup>1)</sup>，守本 倫子<sup>2)</sup>

- 1) 国立成育医療研究センター集中治療科
- 2) 国立成育医療研究センター耳鼻咽喉科

58 乳幼児の気管開窓術（トラフ法）

○紫野 正人<sup>1)</sup>，安岡 義人<sup>2)</sup>，豊田 実<sup>1)</sup>，中島 恭子<sup>1)</sup>，横堀 有紀<sup>1)</sup>，近松 一朗<sup>1)</sup>

- 1) 群馬大学医学系研究科耳鼻咽喉科・頭頸部外科
- 2) 鶴谷病院耳鼻咽喉科

59 気管カニューレ抜去症例の検討

○笹村 佳美<sup>1)</sup>，市村 恵一<sup>2)</sup>，前田 貢作<sup>3)</sup>

- 1) 自治医科大学とちぎ子ども医療センター耳鼻咽喉科
- 2) 自治医科大学医学部耳鼻咽喉科
- 3) 自治医科大学医学部小児外科

60 気管切開を行った乳児喉頭肉芽腫の1例

○井上 真規，小河原 昇，田辺 輝彦

神奈川県立こども医療センター 耳鼻咽喉科

61 喉頭気管分離術後の呼吸器合併症

○前川 貴伸<sup>1)</sup>，中舘 尚也<sup>1)</sup>，水足 邦雄<sup>2)</sup>，守本 倫子<sup>2)</sup>

- 1) 国立成育医療研究センター総合診療部
- 2) 国立成育医療研究センター感覚器・形態外科部耳鼻咽喉科

第15群 喉頭気管2 14：00～14：50

座長：兵頭 政光（高知大学医学部耳鼻咽喉科）

望月 博之（東海大学医学部専門診療学系小児科学）

62 当科における重症心身障害児に対する誤嚥防止手術の検討

○大脇 成広<sup>1)</sup>，立石 碧<sup>2)</sup>，竹澤 公美子<sup>1)</sup>，大道 千奈津<sup>1)</sup>，入川 直矢<sup>1)</sup>，柴山 将之<sup>1)</sup>，清水 猛史<sup>1)</sup>

- 1) 滋賀医科大学医学部耳鼻咽喉科
- 2) 公立甲賀病院耳鼻咽喉科

63 気管腕頭動脈瘻が疑われ腕頭動脈離断術を施行した重症心身障害児2症例

○牧角 祥美<sup>1)</sup>，安達 のどか<sup>1)</sup>，浅沼 聡<sup>1)</sup>，二藤 隆春<sup>2)</sup>，坂田 英明<sup>3)</sup>

- 1) 埼玉県立小児医療センター耳鼻咽喉科
- 2) 東京大学医学部耳鼻咽喉科
- 3) 目白大学保険医療学部言語聴覚学科

64 当院における小児呼吸不全に対する手術症例

○小野 智裕<sup>1)</sup>, 渡邊 彩<sup>1)</sup>, 本間 博臣<sup>1)</sup>, 油井 健史<sup>1)</sup>, 竹村 栄毅<sup>1)</sup>,  
洲崎 春海<sup>2)</sup>

1) 横浜労災病院耳鼻咽喉科

2) 昭和大学医学部耳鼻咽喉科学教室

65 喉頭披裂部余剰粘膜焼灼術が奏功した後天性喉頭軟弱症の一例

○水足 邦雄<sup>1)</sup>, 木村 朱里<sup>1)</sup>, 三塚 沙希<sup>1)</sup>, 中館 尚也<sup>2)</sup>, 前川 貴伸<sup>2)</sup>,  
守本 倫子<sup>1)</sup>

1) 国立成育医療研究センター耳鼻咽喉科

2) 国立成育医療研究センター総合診療部

66 小児の咽喉頭症状と胃排泄能低下の関連

○三枝 英人, 山口 智, 小町 太郎, 門園 修, 伊藤 裕之  
日本医科大学付属病院耳鼻咽喉科・頭頸部外科

第16群 喉頭気管3 14:50~15:40

座長: 竹内 万彦

(三重大学大学院医学系研究科耳鼻咽喉・頭頸  
部外科学)

吉原 重美 (獨協医科大学小児科)

67 高度誤嚥患者において声門閉鎖術後に頸部膿瘍を反復した2症例

○柏木 隆志, 平林 秀樹, 中村 真美子, 深美 悟, 春名 眞一  
獨協医科大学耳鼻咽喉・頭頸部外科

68 持続的 vocal cord dysfunction を認めた一症例

○丸山 裕美子<sup>1)</sup>, 伊藤 真人<sup>2)</sup>

1) 黒部市民病院耳鼻咽喉科

2) 金沢大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科

69 福岡大学医学部耳鼻咽喉科外来における近年3年間の小児患者の関する臨床統計的検討

○梅野 悠太, 上野 哲子, 樋口 仁美, 中川 尚志  
福岡大学医学部耳鼻咽喉科

70 豆の気管支異物に対する幼稚園保護者の意識調査

○坂井田 麻祐子

三重耳鼻咽喉科

72 超重度身障児の気道管理の問題点

○那須 隆, 小池 修治, 渡辺 知緒, 欠畑 誠治  
山形大学医学部耳鼻咽喉・頭頸部外科学講座

(第2日目：第3会場)

ミート ザ エキスパート4 11:00~11:50

メダカから探る味覚系の基本原理

司会：滝沢 琢己

(群馬大学大学院医学系研究科小児科学分野)

○安岡 顕人<sup>1)</sup>，家木 誉史<sup>2)</sup>，岡田 晋治<sup>2)</sup>，藍原 祥子<sup>3)</sup>，應本 真<sup>4)</sup>，  
三坂 巧<sup>2)</sup>，阿部 啓子<sup>2)</sup>

- 1) 前橋工科大学生物工学科
- 2) 東京大学大学院農学生命科学研究科
- 3) 神戸大学大学院農学研究科
- 4) モネル化学感覚センター

一般演題：口演

第17群 口腔咽頭1 13:10~14:00

座長：内藤 健晴 (藤田保健衛生大学耳鼻咽喉科)

今井 丈英 (日本医科大学附属多摩永山病院小児科)

73 小児の安静時唾液分泌量—学年，性別による検討—

○工藤 典代<sup>1)</sup>，澤井 明香<sup>2)</sup>，黒柳 令子<sup>3)</sup>

- 1) 千葉県立保健医療大学健康科学部栄養学科
- 2) 神奈川工科大学応用バイオ学部栄養生命科学科
- 3) 愛知学泉大学家政学部家政学科管理栄養士専攻

74 Loeys-Dietz 症候群に合併した閉塞性睡眠時無呼吸症候群に対する治療経験

○大石 直樹<sup>1)</sup>，武内 俊樹<sup>2)</sup>，齊藤 秀行<sup>1,3)</sup>，小崎 健次郎<sup>2,4)</sup>，小川 郁<sup>1)</sup>

- 1) 慶應義塾大学医学部耳鼻咽喉科
- 2) 慶應義塾大学医学部小児科
- 3) 齊藤耳鼻咽喉科医院
- 4) 慶應義塾大学医学部臨床遺伝学センター

75 SGA 性低身長症に対する成長ホルモン治療開始後に，  
閉塞性睡眠時無呼吸症候群を発症した症例の検討

○大津 義晃<sup>1)</sup>，小和瀬 貴律<sup>1,2)</sup>，竹越 哲男<sup>3,4)</sup>，荒川 浩一<sup>1)</sup>

- 1) 群馬大学大学院医学系研究科小児科学分野
- 2) 群馬整肢療護園小児科
- 3) 竹越耳鼻咽喉科医院
- 4) 社会保険群馬中央総合病院耳鼻咽喉科

76 小児睡眠時無呼吸症候群の手術的治療の効果について；睡眠深度別・体位別検討

○長尾 明日香，小森 正博，兵頭 政光

高知大学医学部耳鼻咽喉科

77 扁桃を巡る耳鼻科医・小児科医の温度差—溶連菌感染症を中心に

○竹越 哲男

竹越耳鼻咽喉科医院

社会保険群馬中央総合病院耳鼻咽喉科

第18群 口腔咽頭 2 14:00~14:50

座長：川城 信子（元 国立成育医療センター）

椿 俊和

（医療法人社団武光会つばきこどもクリニック）

78 アデノイド切除，両側口蓋扁桃摘出術後に血清型 35B 肺炎球菌による  
髄膜炎を発症した一例

○星野 直<sup>1)</sup>，兼坂 寛子<sup>2)</sup>，有本 友季子<sup>2)</sup>，仲野 敦子<sup>2)</sup>

1) 千葉県こども病院感染症科

2) 千葉県こども病院耳鼻咽喉科

79 小児扁桃周囲膿瘍の臨床的検討

○井内 寛之，黒野 祐一

鹿児島大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科

80 当院における小児咽後膿瘍症例の検討

○須藤 敏，崎浜 教之

沖縄県立中部病院耳鼻咽喉・頭頸部外科

81 先天性下口唇麻痺に対する治療経験

○小野寺 剛慧，浜島 昭人，久保田 夏枝

群馬県立小児医療センター形成外科

82 当院での小児の口腔咽頭外傷

○木村 朱里，三塚 沙希，水足 邦雄，守本 倫子

国立成育医療研究センター耳鼻咽喉科

第19群 口腔咽頭 3 14:50~15:40

座長：原淵 保明

（旭川医科大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科）

83 神奈川リハビリテーション病院における学齢期小児に発症した  
後天性原因による嚥下障害

○伊藤 裕之<sup>1,2)</sup>，三枝 英人<sup>1)</sup>，門園 修<sup>2)</sup>

1) 日本医科大学耳鼻咽喉科学教室

2) 神奈川リハビリテーション病院耳鼻咽喉科

84 小児における後天性顔面神経麻痺92例の病因，治療，予後に関する調査  
～当院10年間における検討～

○竹田 加奈子<sup>1)</sup>，前川 貴伸<sup>1)</sup>，木村 朱里<sup>2)</sup>，三塚 沙希<sup>2)</sup>，水足 邦雄<sup>2)</sup>，  
守本 倫子<sup>2)</sup>

1) 国立成育医療研究センター総合診療部

2) 国立成育医療研究センター耳鼻咽喉科

85 先天性大脳白質形成不全症の3亜型における臨床経過とABR所見の特徴

○田中 学<sup>1)</sup>, 安達 のどか<sup>2)</sup>, 浅沼 聡<sup>2)</sup>, 坂田 英明<sup>3)</sup>, 加我 君孝<sup>4)</sup>

- 1) 埼玉県立小児医療センター神経科
- 2) 埼玉県立小児医療センター耳鼻咽喉科
- 3) 目白大学保健医療学部言語聴覚学科
- 4) 国立病院機構東京医療センター臨床研究センター (感覚器センター)

86 Cockayne 症候群の一例

○中島 恭子<sup>1)</sup>, 長井 今日子<sup>1)</sup>, 天野 博雄<sup>2)</sup>, 澤浦 法子<sup>3)</sup>, 近松 一郎<sup>1)</sup>

- 1) 群馬大学大学院医学系研究科耳鼻咽喉科頭頸部外科
- 2) 群馬大学大学院医学系研究科皮膚科
- 3) 群馬大学大学院医学系研究科小児科学

87 口腔内装具の使用で改善した空気嚥下症

○益田 慎<sup>1)</sup>, 長嶺 尚代<sup>1)</sup>, 福島 典之<sup>1,2)</sup>

- 1) 県立広島病院小児感覚器科
- 2) 県立広島病院耳鼻咽喉科・頭頸部外科

(第2日目：第5会場)

一般演題：ポスター

第20群 鼻・喉頭・頸部 13：10～14：20

座長：佐野 光仁

(大阪府立母子保健総合医療センター耳鼻咽喉科)

前田 昇三 (伊勢崎市民病院小児科)

- P14 原発性線毛運動不全症の確定診断に至らなかった同胞例  
○竹内 万彦<sup>1)</sup>, 西森 久史<sup>2)</sup>, 坂井田 寛<sup>1)</sup>  
1) 三重大学大学院医学系研究科耳鼻咽喉・頭頸部外科  
2) 三重県立総合医療センター小児科
- P15 ことばの遅れを主訴に来院し発達性ゲルストマン症候群と考えられた一例  
○益田 慎<sup>1)</sup>, 長嶺 尚代<sup>1)</sup>, 福島 典之<sup>1,2)</sup>  
1) 県立広島病院小児感覚器科  
2) 県立広島病院耳鼻咽喉科・頭頸部外科
- P16 小児に発症した鼻性眼窩内合併症の一例  
○石川 竜司, 水田 邦博, 細川 久美子, 瀧澤 義徳, 高橋 吾郎,  
三澤 清, 細川 誠二, 峯田 周幸  
浜松医科大学医学部耳鼻咽喉科・頭頸部外科
- P17 当科における小児深頸部膿瘍の検討  
○五十嵐 賢, 石井 裕貴, 渡辺 浩介, 増山 敬祐  
山梨大学医学部附属病院耳鼻咽喉科頭頸部外科
- P18 当科における小児異物症例の検討  
○大原 卓哉, 牧 敦子, 正来 隆, 岡本 牧人  
北里大学病院耳鼻咽喉科
- P19 側彎に伴う気管狭窄に対し腕頭動脈離断術を施行した重症心身障害児の2例  
○澤浦 法子<sup>1)</sup>, 釜菫 桂子<sup>1)</sup>, 村松 一洋<sup>1)</sup>, 飯田 英基<sup>2)</sup>, 荒川 浩一<sup>1)</sup>  
1) 群馬大学大学院医学系研究科小児科学分野  
2) 桐生厚生総合病院耳鼻咽喉科
- P20 側頭部腫瘍で発症したランゲルハンス組織球症の1例  
○平田 結<sup>1)</sup>, 岸部 幹<sup>1)</sup>, 野村 研一郎<sup>1)</sup>, 高原 幹<sup>1)</sup>,  
金田 眞<sup>2)</sup>, 林 達哉<sup>1)</sup>, 原渕 保明<sup>1)</sup>  
1) 旭川医科大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科  
2) 旭川医科大学小児科

(第2日目：第7会場)

一般演題：ポスター

第21群 聴覚1 13：10～13：50

座長：増田 佐和子（国立病院機構三重病院耳鼻咽喉科）

渡部 登志雄

（群馬大学大学院医学系研究科小児科学分野）

P21 ハンター病における難聴

○太田 有美<sup>1)</sup>，森鼻 哲生<sup>1)</sup>，増村 千佐子<sup>1)</sup>，木澤 薫<sup>2)</sup>，岩本 依子<sup>1)</sup>，  
猪原 秀典<sup>1)</sup>

1) 大阪大学大学院医学系研究科耳鼻咽喉科・頭頸部外科

2) 大阪警察病院

P22 当科におけるダウン症児の臨床的検討

○任 智美<sup>1)</sup>，奥中 美恵子<sup>2)</sup>，北條 和歌<sup>3)</sup>，西口 道子<sup>1)</sup>，阪上 雅史<sup>1)</sup>

1) 兵庫医科大学耳鼻咽喉科

2) 明和病院耳鼻咽喉科

3) 尼崎中央病院耳鼻咽喉科

P23 難聴の遺伝子検査結果開示における認定遺伝カウンセラーの役割

～千葉県こども病院のケースから～

○岡田 千穂<sup>1)</sup>，仲野 敦子<sup>2)</sup>，有本 友季子<sup>2)</sup>

1) 千葉県こども病院こども・家族支援センター

2) 千葉県こども病院耳鼻咽喉科

P24 両側前庭水管拡大を認めた当科難聴症例の臨床的検討

○有本 友季子<sup>1)</sup>，仲野 敦子<sup>1)</sup>，工藤 典代<sup>2)</sup>，松永 達雄<sup>3)</sup>

1) 千葉県こども病院耳鼻咽喉科

2) 千葉県立保健医療大学健康科学部

3) 国立病院機構東京医療センター

第22群 聴覚2 13：50～14：40

座長：清水 猛史（滋賀医科大学耳鼻咽喉科）

岡田 恭典

（群馬大学大学院医学系研究科小児科学分野）

P25 先天性サイトメガロウイルス感染児におけるガンシクロビル血中濃度の検討

○菅井 沙知<sup>1)</sup>，高橋 良平<sup>1)</sup>，安達 のどか<sup>2)</sup>，浅沼 聡<sup>2)</sup>，坂田 英明<sup>3)</sup>，  
大石 勉<sup>4)</sup>

1) 埼玉県立小児医療センター薬剤部

2) 埼玉県立小児医療センター耳鼻咽喉科

3) 目白大学保健医療学部言語聴覚学科

4) 埼玉県立小児医療センター感染免疫科

P26 ABR I波潜時とI-V波間潜時短縮症例の検討 一年齢別正常参考値と比較して—

○横田 進<sup>1)</sup>, 榎本 英雄<sup>1)</sup>, 安達 のどか<sup>2)</sup>, 浅沼 聡<sup>2)</sup>, 坂田 英明<sup>3)</sup>

- 1) 埼玉県立小児医療センター検査技術部
- 2) 埼玉県立小児医療センター耳鼻咽喉科
- 3) 目白大学保健医療学部言語聴覚学科

P27 新生児聴覚スクリーニングを受けずに診断された両側難聴児の追跡調査

○千田 いづみ<sup>1)</sup>, 島田 亜紀<sup>1)</sup>, 宇高 二良<sup>1,2)</sup>, 佐藤 公美<sup>1,2)</sup>,  
長嶋 比奈美<sup>1,2)</sup>, 武田 憲昭<sup>1)</sup>

- 1) 徳島大学医学部耳鼻咽喉科・頭頸部外科
- 2) 宇高耳鼻咽喉科医院

P28 VRAによる聴覚障害乳幼児の骨導聴力測定を試み

○富澤 晃文<sup>1,2)</sup>, 佐久間 嘉子<sup>2)</sup>, 遠藤 まゆみ<sup>2)</sup>, 坂田 英明<sup>1,2)</sup>

- 1) 目白大学保健医療学部言語聴覚学科
- 2) 目白大学クリニック

P29 人工内耳における裸耳聴力レベルと日本語言語能力の関連性

○高橋 吾郎<sup>1)</sup>, 瀧澤 義徳<sup>1)</sup>, 細川 久美子<sup>1)</sup>, 三澤 清<sup>1)</sup>,  
水田 邦博<sup>1)</sup>, 峯田 周幸<sup>1)</sup>, 福島 邦博<sup>2)</sup>

- 1) 浜松医科大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科
- 2) 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科耳鼻咽喉・頭頸部外科